

患者さんへ

「80歳以上の高齢者のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫 における抗がん剤治療と経過の相関性」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

| | |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 研究の対象 | 2016年1月～2025年1月に当院血液内科でびまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)の抗がん剤治療を受けられた80歳以上の患者さん |
| 2 研究目的・方法 | <p>80歳以上のDLBCLの患者さんへの抗がん剤治療は、患者さんそれぞれにあわせて、標準化学療法を減量して行っています。高齢の患者さんは、もともとの既往(心臓疾患、腎臓疾患など)や、全身状態(パフォーマンスステータス)、栄養状態などが患者さんによって大きく異なるため、患者さんの状態に応じた最適な抗がん剤の投与量はわかっていません。</p> <p>そこで、当院でこれまで、実際に高齢の患者さん個人個人にあわせて投与してきた抗がん剤の用量と、実際の患者さんの状態、及びその効果がどの程度得られていたのか、副作用等の発生状況をふりかえり、今後の高齢DLBCL患者さんの抗がん剤治療に役立てたいと考えています。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後(2025年3月予定)～2026年3月</p> |
| 3 情報の利用拒否 | <p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p> |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 年齢、性別、体重、日常生活動作、併存疾患、ステージ、血液検査データ、抗がん剤治療の回数と量、副作用等の発生状況 等 |
| 5 個人情報の取り扱い | 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。 |
| 6 お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院・血液内科 佐藤淑 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p> |